

技術・家庭

(技術分野)

(13) 技術・家庭（技術分野）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくり等の技術に関する実践的・体験的な活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) ものづくり等に関する実習等の結果を整理し考察したり、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念等を用いて考え、説明したりする学習活動を充実させる等、言語能力の育成を図るための工夫 (3) コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、実習等における情報を収集したり、実践結果を発表したりするなど、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫 (4) 見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫 (5) 実践的・体験的な活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等
3 その他	今日の課題への配慮や工夫

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の活動を設定することで、生徒が主体的に取り組み、対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 〔例〕（P29、P33、P201）</p> <p>●着眼点(2)について ガイダンスでは、学習の流れ、思考ツールの活用、まとめと発表の仕方など、技術分野の学習の方法が示され、生徒が自分たちで考えを説明する学習活動につながるよう工夫されている。 〔例〕（P6～7）</p> <p>●着眼点(3)について ・基本的なプログラミングを学習できる資料が巻末に掲載されており、プログラミングの個人差に対応できるよう工夫されている。 〔例〕（P282～283） ・インターネットを活用して効果的に学習を進めるための動画やワークシート等を活用できるよう二次元コードが配置されるとともに、Dマークによって学習との対応箇所がわかるよう工夫されている。 〔例〕（P4、P15）</p>	<p>●着眼点(4)について 各編の導入時や各節で、学習の到達目標が明示されており、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。「学習のまとめ」では、「学習したことを確かめよう」等が設けられ、生徒が学習したことをふりかえられるよう工夫されている。 〔例〕（P26、P84～85）</p> <p>●着眼点(5)について 各章で取り上げられている問題解決では、「もっと問題解決」に加え、複数の例が示されており、さまざまな視点から解決につながる学習に取り組めるよう工夫されている。 〔例〕（P72～73）</p> <p>●着眼点(6)について 脚注には、「技術の工夫」として身近な技術や製品等が掲載されており、生徒の興味・関心を高め、自主的・自発的な学習へつながるよう工夫されている。 〔例〕（P28）</p> <p>●着眼点(7)について 小学校や他教科と関連する内容に関しては「リンクマーク」が付され、教科等横断的に学習ができるよう工夫されている。 〔例〕 小学校リンク（P90） 他教科リンク（P91）</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
6 教図	<p>●着眼点(1)について 「見つける」では、生徒同士の対話場面 が示され、生徒が技術の見方・考え方を働 かせるとともに、技術への関心を高め、主 体的に学習に取り組めるよう工夫されて いる。 〔例〕 (P18)</p> <p>●着眼点(2)について 「やってみよう」では、問題解決の学習 場面で、少人数での話し合いや発表等、対 話的な活動を通じて、言語能力の育成を 図ることができるよう工夫されいてる。 〔例〕 (P162)</p> <p>●着眼点(3)について プログラミング言語の基本的な使い方 が複数掲載されており、生徒のプログラミ ング体験の差に対応できるよう工夫され ている。 〔例〕 (別冊 P30～38) 実習題材や別冊「スキルアシスト」の各 ページに、動画などを開覧し、理解を深 るためのデジタルコンテンツにアクセスで きる二次元コードが、配置されている。 〔例〕 (別冊 P5)</p>	<p>●着眼点(4)について 「見つける・学ぶ・ふり返る」が設 定され、見通しをもって学習活動がで けるとともに、自ら学習内容の理解度 を確認できるよう工夫されている。 〔例〕 (P30～31)</p> <p>●着眼点(5)について 身近な問題を解決するための方法 の例示が掲載されており、既習内容と 課題を関連付け、学んだことが生かさ れるよう工夫されている。 〔例〕 (P90～105)</p> <p>●着眼点(6)について 生活上の問題が解決されている場 面の写真が大きく掲載され、生徒が技 術への興味・関心をもち、自主的・自 発的な学習へとつながるよう工夫さ れている。 〔例〕 (P14～15)</p> <p>●着眼点(7)について 他教科・小学校との関連がある学習 内容には「関連マーク」が付され、系 統性、関連性を意識し学習ができるよ う工夫されている。 〔例〕 (P72)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
<p style="text-align: center;">9 開隆堂</p>	<p>●着眼点(1)について 冒頭に学習課題が設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、各小項目の最後に「CHECK」が設けられ、生徒が自らの学習状況を確認し、学びが深められるよう配慮されている。 〔例〕 (P28、P36)</p> <p>●着眼点(2)について ワークシートによって、調べたことや考えたことを文章にまとめる学習が設けられており、言語能力の育成が図られるよう工夫されている。 〔例〕 (P48～49)</p> <p>●着眼点(3)について 「生物育成の技術と情報の技術」等、複数の領域を組み合わせた解決方法の例が掲載されており、総合的にプログラミングを活用できるよう工夫されている。 〔例〕 (P292～293) すべての学習課題に学習課題解決に向けたヒントにつながる学習コンテンツにアクセスできる二次元コードが、配置されている。 〔例〕 (P29)</p>	<p>●着眼点(4)について 各小項目に設けられている「CHECK」によって、学習課題に対して自分自身の理解を振り返ることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P13)</p> <p>●着眼点(5)について 各内容の「私たちの未来」では、技術のあり方や活用のしかたを判断・評価する学習が設けられ、社会や環境について考えることができるよう配慮されている。 〔例〕 (P152～153)</p> <p>●着眼点(6)について スプーンやボールペン等、具体的な製品から技術のしくみを考えられるよう構成され、興味・関心をもって学ぶことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P8～13)</p> <p>●着眼点(7)について 各内容の導入時に小学校や他教科とのつながりが示されている。また、小学校、他教科との関連がある箇所にはマークが示され、教科横断的なカリキュラムが作成できるよう工夫されている。 〔例〕 (P27、P120)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	(1) 内容別配当の分量 (ページ数)						(2) 教材・資料等の分量							
		ガイダンス等	A 材料と加工の技術	B 生物育成の技術	C エネルギー変換の技術	D 情報の技術	その他	使用されるマーク数				二次元コード	注釈及び用語説明の数	書き込み欄の数	三重県に関わる記述等
								安全	伝統文化	環境	防災				
2 東書	284	14	62	48	62	67	31	17	4	24	1	271	90	2	-
6 教図	267	16	56	42	60	74	19	20	6	6	2	44	42	10	-
6 教図 別冊「ハンドブック」	42	2	12	11	5	10	2	18	0	0	3	11	3	0	-
9 開隆堂	312	30	80	52	54	72	24	27	1	15	5	119	104	15	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編成上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさは、A B判が採用されている。 植物油インキが使用されている。 ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 カラーユニバーサルデザインの観点から配色とデザインを工夫されている。
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさは、A B判縦長変形が採用されている。 植物性インキが使用されている。 ユニバーサルデザイン書体が採用されている。 様々な実習題材でも基礎的な技能が参照できるよう別冊にまとめられている。
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさは、A B判が採用されている。 環境に配慮した植物油インキが使用されている。 ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮されている。

3 その他

今日的な課題への配慮や工夫	
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「作業を安全に楽しく進めよう」では、安全に関わる注意事項が掲載され、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるよう配慮されている。 <p style="text-align: right;">(P8～9)</p>
6 教図	<ul style="list-style-type: none"> ・「切断」や「切削」等、基本的な製作の技能が示されている別冊の中で安全マークが付されており、生徒が安全に作業できるよう工夫されている。 <p style="text-align: right;">(別冊P4～5)</p>
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・学習場面と関連づけて安全マークが付されており、安全に留意しながら学習が進められるよう工夫されている。 <p style="text-align: right;">(P80)</p>